

## 基本目標Ⅳ 子どもの生きる力をはぐくむ

- (1) 学校教育の振興
- (2) 幼児期の教育の振興
- (3) 文化・スポーツ活動の振興
- (4) 子どもの生活力の向上

# 実績報告書

事業番号	4101	英語教育の充実	計画掲載ページ	98	事業区分	新規
担当課	教育指導課					

## 1 令和4年度事業実績

### (1) 事業実績

英語4技能検定を通して、生徒一人ひとりが自分の力を把握することができた。また、検定結果を活用して授業改善を図ることができるよう各学校英語科教員1名を悉皆とした研修を行った。小学校第6学年児童を対象に、適切な感染症対策を行いながら、日帰り体験型英語学習事業を実施した。中学校では希望者を対象に日帰り体験型英語学習事業、イングリッシュ・キャンプを3日間学校に登校して実施した。

### (2) 主な経費

英語4技能検定 GTEC 4,775,300円  
日帰り体験型英語学習（小学校） 9,127,407円

## 2 達成状況

### (1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

#### 【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

### (2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

### (3) 評価の理由

英語4技能検定では、生徒が自身の学習状況を客観的に把握することができた。また、研修を実施し、各学校での授業改善に向けて検定結果について理解を深めた。また、感染症対策を徹底しながら行うことができる日帰り体験型英語学習事業を実施し、児童・生徒が英語をすすんで話す機会とすることができた。イングリッシュ・キャンプは、感染症対策を適切に行いながら、学校を会場にして実施することができた。

## 3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

英語4技能検定の結果の活用について検討する。また、中学校英語スピーキングテストの結果を踏まえ、各学校の授業改善に向けて準備・検討していく。また、児童・生徒が英語を実践的に話す機会を設けるため、日帰り体験型英語学習事業やイングリッシュ・キャンプを実施する。特にイングリッシュ・キャンプについては全校実施（試行）の検証を行い、本格実施に向けた検討・協議を行う。

## 4 今後の課題や事業の方向性

授業改善に向け、引き続き中学校外国語教育推進委員会にて、英語4技能検定（GTEC）結果の更なる活用を検討する。また、中学校英語スピーキングテストの結果を踏まえ、英語を実践的に話す機会を増やすため、日帰り体験型英語学習事業やイングリッシュ・キャンプの拡充に向け、課題や今後の方向性について検討する。

## 5 コロナの影響・課題

### (1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

### (2) 浮彫となった課題等

特になし

## 実績報告書

事業番号 4102	プログラミング教育の充実		
担当課： 教育指導課	計画掲載ページ： 98	事業区分：	新規

### 1 令和4年度事業実績

#### (1) 事業実績

児童一人一台の学習用情報端末を活用し、小学校第5学年においては、総合的な学習の時間に位置付けてプログラミング体験学習を5時間、導入1時間、まとめ1時間の計7時間実施した。小学校第6学年においては、理科や総合的な学習の時間に位置付けてプログラミング体験学習を4時間、導入1時間、まとめ1時間の計6時間程度実施した。

また、理科のプログラミング教材としてプログラミングツール「MESH（メッシュ）の教材セット」を各小学校に貸与し、小学校第6学年の「電気の利用」の学習の中でプログラミング体験学習を実施した。プログラミング教育モデルカリキュラムの改定を行い、学年ごとの指導事例を示した。

#### (2) 主な経費

なし

### 2 達成状況

#### (1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

#### 【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

#### (2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

#### (3) 評価の理由

児童一人一台配備された学習用情報端末の活用により、プログラミング的思考や、論理的思考力の育成を図るプログラミング教育の充実を図ることができた。

### 3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

改定「目黒区立小学校プログラミング教育モデルカリキュラム」に基づき、各学年3時間程度、学校の実態に応じて実施する。

### 4 今後の課題や事業の方向性

児童・生徒一人一台の学習用情報端末を活用したプログラミング教育の充実を図るとともに、教員の指導力向上のための研修を充実させていく。

### 5 コロナの影響・課題

#### (1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

#### (2) 浮彫となった課題等

特になし

実績報告書

事業番号 4103	区立中学校の適正規模・適正配置の推進		
担当課： 学校統合推進課	計画掲載ページ： 98	事業区分：	拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

統合対象校の学校関係者、保護者、地域の方々等で構成する協議組織を設置して、学校の位置や目指す学校像等の基本的な事項について協議し、協議組織等による協議・検討結果に基づいて、新設中学校の基本的な事項を示した方針（「第七中学校と第九中学校の統合新校整備方針」及び「第八中学校と第十一中学校の統合新校整備方針」）を策定した。

(2) 主な経費

統合新校推進協議会だより及び整備方針パンフレット印刷 913,000円  
 生徒参加による学校づくり体制整備 192,280円

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

統合新校整備方針案の策定に当たっては小学校児童・保護者向けアンケートにより、子どもや保護者の意見を反映させた。また、保護者や地域などを対象の説明会や小学生向けワークショップ、教育委員会ホームページへの説明動画などにより整備方針案を幅広く周知し、説明会での質疑応答や意見募集によって広く区民からの意見聴取に取り組んだ。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針及び第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針に基づき、校名の選定や教育計画・施設計画の検討など、開校に向けた具体的な準備を行う。

4 今後の課題や事業の方向性

校名の選定に当たっては、保護者や地域の意見を踏まえる必要があることから、公募の方法、対象者の範囲及び選定基準について、各統合新校推進協議会で協議していく。  
 校名選定以外の開校に向けた取組については、検討組織を設置し、生徒、保護者、地域の方等の意見を十分に聴きながら配慮が必要な事項に留意して検討や取組を進めていく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

説明会会場での検温、消毒、ソーシャルディスタンスの確保など、感染防止対策に努めた。  
 また、説明会を一部オンラインとしたり、説明動画を作成するなどして、自宅等での参加や視聴を可能とした。

実績報告書

事業番号 4104	学校ICT環境の整備
担当課： 学校ICT課	計画掲載ページ： 99 事業区分： 拡充

1 令和4年度事業実績

(1) 事業実績

令和4年3月策定の日黒区実施計画に基づき、令和4年度は区立小中学校で使用する教育用ICT機器（指導者用PC、大型提示装置等）及び校内ネットワーク更新の準備作業として、小・中学校長を構成員に含めた選定委員会を設置し、プロポーザル方式による事業者選定を行った。

(2) 主な経費

機器リース経費 145,867,320円  
再構築事前調査業務経費 5,676,000円  
(令和4年度実績)

2 達成状況

(1) 事業全体

評価（5段階）
4：達成した

【評価段階の説明】

5	計画以上に達成した	2	あまり達成できていない
4	達成した	1	達成していない
3	ある程度達成した		

(2) 着眼点別

着 眼 点	評 価 （5段階）
支援の質の向上	4：達成した
量的拡充	4：達成した
区民や地域等との協働	4：達成した
区民ニーズに沿った事業運営	4：達成した
安心・安全の確保	4：達成した
社会・経済、制度変更等への対応	4：達成した

(3) 評価の理由

令和4年度に予定していた準備作業としての事業者の選定の他、令和5年度以降の機器更新及びネットワークの更新に係る事前調査作業も実施した。

3 令和5年度の事業実施内容や改善点等

目黒区実施計画に基づき、令和5年度は、小学校10校及び中学校5校の機器入替及び校内ネットワークの更新を実施する。また、小中学校のインターネット回線の見直しを行い、高速大容量化を図る。

4 今後の課題や事業の方向性

目黒区実施計画及び教育情報化推進計画として令和4年3月に策定した「MEGUROスマートスクール・アクションプラン」に基づき、学校ICT環境を整備していく。

5 コロナの影響・課題

(1) 実施状況

評価（3段階）	A：予定とおり実施した
---------	-------------

(2) 浮彫となった課題等

特になし